

レタスの1～3月どり栽培における適品種の選定

〔要約〕レタスの1～3月どり栽培において、10月1～15日に播種し、安定生産できる品種として、収量性が高い「シリウス」と球形の乱れが年次間や播種期で少ない「鴨川54」を選定した。

豊前分場・普通作物・野菜研究室					連絡先	09302-3-0163	
部会名	園芸	専門	栽培	対象	葉茎菜類	分類	普及

〔背景・ねらい〕

レタスの秋播き冬どり、特に1～3月どり栽培では、気象による収量および品質の変動が著しい。このため県下では複数の品種が栽培されており、主要産地である築上地域では「冬シスコ」を、柳川地域では「カテリーナ」を導入している。そこで、県下の栽培品種と近年登録された新品種の中から、1～3月の結球肥大に優れ、品質の変動が少ない品種を選定する。

〔成果の内容・特徴〕

1～3月どりレタス品種として、「シリウス」と「鴨川54」を選定した。

「シリウス」の特性は次のとおり。

- ①「冬シスコ」に比べ結球の肥大は優れ、収量性が高い（表1）。
- ②収穫始めは遅い。収穫適期の幅は播種期により差があり、2月下旬からの収穫適期幅は特に狭い（表1）。
- ③球形はやや扁平であり、葉色は「冬シスコ」に比べ薄い、「カテリーナ」より濃い（表2）。

「鴨川54」の特性は次のとおり。

- ①「冬シスコ」と結球の肥大および収量性は同等である（表1）。
- ②収穫始めは遅く、収穫適期の幅は狭い（表1）。
- ③球形はやや腰高で、年次や生育期間の気象の影響を受けにくい。葉色は「冬シスコ」に比べ淡いが、「カテリーナ」より濃い（表2）。

〔成果の活用面・留意点〕

- ①1～3月どり栽培の県内主要産地に導入する。
- ②「シリウス」は、2月下旬からの収穫適期の幅が狭いため、収穫が遅れないように留意する。

[具体的データ]

表1 レタス品種の播種期別収穫期および収量 (平成4～5年, 平均)

品 種	播種期	収 穫 期		収 穫 株 率	平 均 結 球 重	収 量
		期 間	盛 期			
		月 / 日	月 / 日	%	g	t/10a
シ リ ウ ス	10月1日	1/25～2/15	2/ 7	97	419	2.5
	10月15日	2/27～3/ 8	3/ 5	96	491	3.0
鴨 川 5 4	10月1日	1/25～2/ 9	2/ 2	97	364	2.2
	10月15日	2/28～3/16	3/ 9	99	430	2.7
冬 シ ス コ (標準品種)	10月1日	1/20～2/ 8	2/ 6	97	388	2.3
	10月15日	2/25～3/15	3/11	93	436	2.5
カ テ リ ー ナ (比較品種)	10月1日	1/24～2/ 6	2/ 2	92	411	2.4
	10月15日	2/24～3/13	3/ 5	90	434	2.4

表2 レタス品種の播種期別品質 (平成4～5年, 平均)

品 種	播種期	球 高	球 形 比		腐 敗 株 率	葉 色
			4 年	5 年		
		cm			%	
シ リ ウ ス	10月1日	13.2	0.92	1.04	0	26.0
	10月15日	12.2	0.87	0.91	0	
鴨 川 5 4	10月1日	15.1	1.06	1.08	0	26.1
	10月15日	14.2	1.01	1.03	0	
冬 シ ス コ (標準品種)	10月1日	15.0	1.02	1.07	0	31.3
	10月15日	13.6	0.84	1.03	3	
カ テ リ ー ナ (比較品種)	10月1日	13.5	1.03	0.91	3	23.4
	10月15日	12.3	0.88	0.89	6	

注) ①球形比 = (球高) ÷ (球径)

②葉色: 結球葉の最も外側の葉を MINOLTA SPAD-502 で測定した値
数値が大きいほど葉色は濃い

[その他]

研究課題名: 野菜の高品質栽培技術の確立

予算区分: 経常

研究期間: 平成5年度 (平成4～5年)

研究担当者: 柴戸靖志, 小田原孝治, 林田達也, 松江勇次

発表論文等: 平成4年度 野菜・花き試験研究成績概要集
平成5年度 豊前分場 野菜試験成績書